

虐待リスクの高い 発達障害を持つ 子どもたちの教育支援

特定非営利活動法人

教育サポートセンターNIRE（東京都品川区）

代表 中塚史行（特別支援教育士）



◆直近助成年度：H27年度

◆助成額：1,240千円

◆事業名：「虐待リスクの高い、発達障害児の教育支援事業」

NIRE設立のきっかけとなった Aくん（小5）との出会い

★最初の授業のときに、プリントをグチャグチャにされる……。

★「オレに勉強させることはできないぞ！！」と怒り出す。

★「あそこなら、行ってやってもいい」という返事に？？

★信頼関係ができたときに見せた、Aくんのホンネ。

★LD、ADHD、ASDなど、「努力がたりない」「怠けている」と誤解されがちな子どもたちがたくさんいることの驚き。



教育サポートセンターNIRE 活動の沿革

- 2005年 5月品川区で設立、11月東京都より認証
「個別の学習サポート」開始
- 2006年 「夏のキャンプ（山梨県丹波山村）」開始
- 2008年 「田んぼ体験プログラム（横浜市青葉区）」開始
- 2011年 若者支援事業「フリースペース」開始
- 2012年 若者支援事業「社会体験活動」開始
- 2013年 若者支援事業「アウトリーチ事業」開始
- 2014年 WAM助成「貧困リスクのある若者の社会参加応援事業」
- 2015年 WAM助成「虐待リスクの高い発達障害児の教育支援事業」
- 2016年 品川区委託事業「子ども若者応援フリースペース」開所

NIREの子ども支援事業

個別の学習サポート

- ・放課後学習サポート
- ・夏休み宿題サポート
- ・冬休み宿題サポート



社会体験プログラム

- ・田んぼ体験
- ・子どもカフェ企画
- ・春の遠足



宿泊イベント

- ・夏のキャンプ
- ・春のスキー教室



コミュニティの概要

○品川区 人口 38.03万人（2016年4月）
面積 22.84 km²

○小学校 37校 児童数13,507人（H26）

○通常学級に在籍する発達障害の可能性がある生徒の割合（文科省H24調査）
※平均6.5%（小学校7.7%、中学校4.4%）

○支援を必要としている児童数
13,507人×7.7%＝1,040人
（c.f. 通級指導教室に通っている人数は143名）



事業ニーズについて

○学習サポートを実施している生徒27名のうち、過去もしくは現在も引き続き虐待のリスクを負っている生徒（その疑いも含めて）は10名（37%）と把握している。

○学校の宿題や成績不振をきっかけにしたネグレクト（宿題が終わるまで食事を与えない、寝かせないなど）のエピソードが語られるケースは少なくない。

『子ども虐待という第四の発達障害』
（杉山登志郎、2007年）

「最初に驚いたことは、その中（子ども虐待）に、数多くの発達障害児が存在することであった。
.....何らかの発達障害の診断が可能な子どもたちを含めると、全体の54%に達する。」



①学習サポート事業

<放課後学習サポート>

月曜日から金曜日の放課後&土曜日

<夏休み宿題サポート>

7月・8月の夏休み期間8日間

のべ40名の参加

<冬休み宿題サポート>

12月・1月の冬休み期間6日間

のべ27名の参加



②社会体験プログラム

<田んぼ体験>

田植え（5月） 13名参加

稲刈り（10月）23名参加



<子どもカフェ企画>

11月～12月 全4回実施

参加者のべ47名

<春の遠足（サイクリング企画）>

1月 小学6年生7名参加

NIREで出会った子どもたち

・小3男子（ADHD）シングルマザー

宿題をめぐり、親子でバトルを繰り返す

・小6女子（ASD疑い）学校行き渋り

コミュニケーションが苦手、勉強に自信がない

・中1女子（ADHD）生活困窮家庭

「ママの調子が悪いときは食事が無い」「ママとケンカしたときは、デパートの地下や近所の公園で夜遅くまでゲームしてる」



事業連携・ネットワークについて

品川区を拠点に活動しているNPO法人との地域連携をおこなう。
街づくり、子育て支援、発達障害児・者支援、農業指導など、
専門性を持つNPO法人と協働して事業を実施することができた。

<連絡会参加メンバー>

NPO法人 教育サポートセンターNIRE

NPO法人 ふれあいの家-おばちゃんち（街づくり、子育て支援）

NPO法人 パルレ（発達障害児・者支援）

NPO法人 夢の地図（放課後デイサービス）

<田んぼ指導>

NPO法人 農に学ぶ環境教育ネットワーク（農業指導）



地域で支えるしくみづくり①

【学校との連携について】

- ★「地元出身」という強みを生かす
- ★学校公開などの機会に入り込む
- ★先生も助けを必要としている

→ケース会議、懇談会の開催

→いまや新規問い合わせのほとんどが

「学校からの紹介」となっている



地域で支えるしくみづくり②

【行政との連携について】

- ★きっかけはイベントの協力参加
- ★とにかく「顔を出す」というコト
- ★行政もいろいろなアイデアを求めている
- ★NPOは行政の下請けではないというコト

→協働を進めていくための信頼関係づくり

→地域のネットワークをフル活用していく



今後の事業展開について

「子ども若者応援ネットワーク」の設立

(NPO6団体のネットワーク)

→品川区の委託事業を獲得

★子ども若者応援フリースペース事業

- ・毎週月曜日10:00～16:00
- ・利用料は無料
- ・困難を抱える子どもから若者まで
- ★子ども若者応援セミナーの開催
- ・年に一回/貧困・虐待などをテーマ

